

赤十字 NOW

千葉 | 2020 夏号 Vol.51

▶ 発行所/日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

新型コロナウイルス感染症から いのちと健康を守る 赤十字の活動



CONTENTS 2020 vol.51

2 3 特集

新型コロナウイルス
感染症に対する
日本赤十字社の活動

4 News&Report

- ・新型コロナウイルス対策
身近な物の消毒を効果的に
- ・新型コロナウイルスによる感染予防対策に
伴う赤十字救急法等講習の対応について

5 News&Report

- ・献血 新型コロナウイルス感染防止の
ために事前にご予約をお願いします
- ・千葉銀行と遺贈に関する協定を締結
- ・遺贈・相続財産等のご寄付について

6 Information

- ・千葉県支部
ホームページをリニューアル
- ・令和元年度
一般会計歳入歳出決算について

日本赤十字社の活動



日本赤十字社千葉県支部・成田赤十字病院・千葉県赤十字血液センターは、新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、継続的な医療支援やこころのケアなどの活動を通じて、県民の皆様の命と健康、日常生活を守るための活動を続けています。

必要とされる現場に救護班等を派遣

2月に横浜港に停泊中のクルーズ船内で発生した新型コロナウイルス集団感染では、下船された方々の経過観察を行うための滞在施設に、成田赤十字病院から医師、看護師、薬剤師、事務を計4名派遣しました(2月22日~2月24日)。施設に滞在された方々の経過観察を含め感染拡大防止のための医療活動に従事しました。

税務大学校における医療活動



3月下旬に千葉県内の施設で発生した集団感染(クラスター)では、施設内で感染者が確認された初段階からいち早く感染症専門医師を派遣。命を守る医療活動にあたりと共、他の医療機関と連携し感染拡大を避けるため、最善の対応を図りました。

4月19日、千葉県では、感染者の急激な増加に対応するため、成田市内のホテルを借り上げ軽症の患者さんを集中的に受け入れることとなりました。

それを受け、成田赤十字病院では4月20日~24日まで救護班を派遣し、医師・看護師など延べ21名が医療対応にあたりました。

また、7月20日~26日にかけても救護班を成田市内のホテルに派遣し軽症者の医療対応を行いました。今後も必要に応じて対応を継続いたします。



軽症者を受け入れた成田市内ホテルにおける医療対応活動

命を守る最前線で 安心・安全な医療を提供しています

◎成田赤十字病院

成田赤十字病院は、全国に4病院しかない特定感染症指定医療機関として、その役割を果たすべく、行政等からの依頼により、新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れ対応しています。

現場スタッフは万全の感染防止対策、充実した医療体制の下で、患者さんのため日々懸命に治療にあたっています。

また、本来の役割である地域に根ざした医療体制を維持しながら、患者さんの命と健康を守るため、職員が一丸となって、最善の努力を尽くしております。



防護服を着て現場に急ぐ看護師



ICUで懸命に治療にあたる医師

引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動に取り組んでいきます。

日本赤十字社千葉県支部・成田赤十字病院・千葉県赤十字血液センターでは、これからも新型コロナウイルスが終息するまで、県民の皆さまの命と健康を守る活動を続けていくとともに、再流行等の事態が発生した場合に、万全の対応が取れるように備えてまいります。

赤十字奉仕団も地域や子供たちのために ボランティア活動を展開

赤十字奉仕団は外出自粛などで活動が難しい状況の中、地域の方々や子供たちのための手作りマスクの作製・寄贈、献血の呼びかけの協力など、今できるボランティア活動を積極的に展開しています。

病院を支える

◎成田赤十字病院ボランティア会

不足している衛生材料を補うため活動

新型コロナウイルス感染症の影響により衛生材料が不足していることから、成田赤十字病院ボランティア会では、感染予防の徹底を図りながら、アイシールドの組み立てやアームカバー・不織布エプロンの作製を行っています。

作製した衛生材料は、成田赤十字病院で新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者が使用しています。



アームカバーを作成するボランティア

献血を支える

◎東金市赤十字奉仕団

外出自粛により献血者が減少する中 献血協力を呼びかけ、血液確保に貢献

外出自粛の要請により、献血者数が減少し続けている状況の中、4月3日に実施された東金市役所の献血に際して、東金市赤十字奉仕団が事前に熱心な働きかけを行いました。

当日の献血会場には106人も協力者の方々が来場され、輸血用血液の確保に大きく貢献いただきました。



感染症対策を行い献血を実施

県民(市民・地域)を支える

◎勝浦市赤十字奉仕団

勝浦市赤十字奉仕団では、市婦人会、市老人クラブ連合会や教育委員会と協力・相談し、子供たちのためのマスク作りに取り組みました。布などの材料は市内の縫製会社から無償提供を受け、奉仕団員が自宅で作業を行い、計850枚のマスクを作製しました。

市老人会連合会などと合わせて計2,200枚のマスクを市内の園児や小・中学生全員に贈りました。



子どもたちのために 手作りマスクを作製・寄贈

◎君津市赤十字奉仕団

君津市赤十字奉仕団では、奉仕団員がマスク700枚を作製し、君津市に寄贈しました。5月18日に君津市赤十字奉仕団の林委員長から君津市の石井宏子市長に手渡されたこのマスクは、教育委員会から学校を通じて、君津市内小学校の新1年生全員に配布されています。



その他にも、新型コロナウイルス感染症の影響により活動機会が限られているなかで、各地域において赤十字奉仕団が、さまざまなボランティア活動を行っています

企業や団体、個人の皆さまから活動資金や マスク等のご支援をいただいています

日本赤十字社千葉県支部や成田赤十字病院では、企業や団体・個人の皆さまから活動資金やマスク・防護用ガウンなどの衛生材料等のご寄付をいただいております。ご寄付いただいた物品につきましては、成田赤十字病院等において、大切に使用させていただいております。また、成田赤十字病院には、医療従事者への心温まるお手紙やメッセージをいただいております。皆様からの温かいお気持ちに心からお礼申し上げます。皆様のご厚意に報いるべく、職員一丸となって患者さんのため全力を尽くしています。



赤十字活動資金の
寄付についてはこちら
(日本赤十字社ホームページ)



新型コロナウイルス感染症対策

身近な物の消毒を効果的に

新型コロナウイルス対策として、テーブルやドアノブなど身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や一部の家庭用洗剤等が有効です。

新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価により、従来から物品の消毒に使用が推奨されている塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)等の既存の消毒方法に加えて、洗剤に含まれる一部の界面活性剤と一定濃度以上の次亜塩素酸水も身近な物の消毒・除菌に有効であることが新たに確認されました。

※新型コロナウイルスの消毒・除菌に有効な界面活性剤が使われている洗剤を使用する際は、台所周り用・家具用、お風呂用など用途にあった「住宅・家具用洗剤」を使用してください。安全に使用するため、製品に記載された使用方法に従い、使用上の注意を守って、正しく使いましょう。

使用方法等の詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

■ 塩素系漂白剤等の詳しい情報はこちらから

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/0327_poster.pdf



■ 家庭用洗剤等の詳しい情報はこちらから

<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200522009/20200522009-1.pdf>



■ 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について (厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html



新型コロナウイルス感染防止のために、物品の消毒・除菌とあわせて、これまで同様に「石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗い」や「部屋の定期的な換気」等のウイルス対策も行いましょう。

参考 「住宅・家具用洗剤」が手元にない場合、台所用洗剤を使って代用することもできます。

① 洗剤うすめ液を作る。

たらいや洗面器などに500mlの水をはり、台所用洗剤*を小さじ1杯(5g)入れて軽く混ぜ合わせる。
(*食器洗い機用洗剤ではなく、スポンジなどにつけて使う洗剤です。有効な界面活性剤が使われているかも確認しましょう。)

② 対象の表面を拭き取る。

キッチンペーパーや布などに、(1)で作った溶液をしみこませて、液が垂れないように絞る。汚れやウイルスを広げないように、一方向にしっかり拭き取るようにする。

③ 水拭きする。

洗剤で拭いてから5分程度たったら、キッチンペーパーや布などで水拭きして洗剤を拭き取る。特に、プラスチック部分は放置すると傷むことがあるので必ず水拭きする。

④ 乾拭きする。

最後にキッチンペーパーなどで乾拭きする。



〈安全上の注意〉 ◎手指・皮膚には使用しないでください。 ◎スプレーボトルでの噴霧は行わないでください。

出典：厚生労働省ホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html)

新型コロナウイルスによる感染予防対策に伴う赤十字救急法等講習の対応について

千葉県支部では、現在、新型コロナウイルスによる感染症拡大防止対策として、救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援講習を8月末まで中止させていただいております。

なお、令和2年9月以降の開催予定については別途ホームページでご案内いたします。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

救急法等講習は下記サイトから動画でも学ぶことができます。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による心肺蘇生について、厚生労働省より指針が示されています。詳しくは下記QRコードから日本赤十字社ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による心肺蘇生について



WEB CROSS 電子講習室

WEB CROSS



動画で見る一次救命処置





新型コロナウイルス感染防止のために 事前にご予約をお願いします



千葉県赤十字血液センターでは、新型コロナウイルス感染症防止対策として、各献血ルーム及び一部の献血バスにおいて、3密（密閉・密集・密接）を避けるために事前の予約による献血へのご協力をお願いしています。



- **複数回献血クラブ「ラブラッド」会員の方**
会員サイトからご予約が可能です。 **ラブラッド**:<https://www.kenketsu.jp/Login>
- **ラブラッドにご登録されていない方**
フリーダイヤルもしくはご希望の献血ルームに直接お問い合わせください。
千葉県赤十字血液センター登録課 ☎0120-892-760 (9:00~17:00)
※ご予約は予約希望日の前日の17:00まで承っております。
※献血バスの予約については上記フリーダイヤルにて承ります。



事前に予約が無い場合は、必ず事前に献血ルームまでお問い合わせください。

その他、献血に関する情報はホームページをご覧ください。

千葉県赤十字血液センター <https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/chiba/>



千葉銀行と遺贈に関する協定を締結

株式会社千葉銀行と日本赤十字社千葉県支部は、3月25日(水)、「遺言を活用した遺贈に関する協定」を締結しました。

この協定は、日本赤十字社千葉県支部と、遺贈に関する専門的な知見を持つ千葉銀行が連携し、遺贈（遺言による寄付）によって財産を寄付することにより、広く地域社会に役立つことを希望される方々のご意思を、赤十字の活動を通じて円滑に実現することを目的としています。

協定では、日本赤十字社千葉県支部が遺贈希望者に対し具体的な相談先として千葉銀行を紹介し、個別相談により必要に応じて遺言信託などの商品・サービスを提供いただくほか、日本赤十字社千葉県支部が主催する遺贈・相続に関するセミナー等へ千葉銀行から講師を派遣いただく内容となっています。



遺贈・相続財産等のご寄付について



近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」というご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えています。

日本赤十字社では、こうした尊いご意思に応えるために、遺言によるご寄付（遺贈）、相続財産のご寄付、お香典によるご寄付を承っております。

ご案内パンフレットもございますので、ご相談につきましてはお電話（043-241-7531(代表)）または支部ホームページのお問合せフォームから振興課までお気軽にご連絡ください。



千葉県支部ホームページを リニューアル!

ページ構成を見直し、赤十字の赤を基調としたデザインに一新しました。
また、スマートフォンやタブレット端末などに対応した見やすい画面で
ご利用いただけるようになりました。ぜひご覧ください!

<https://www.chiba.jrc.or.jp/>



千葉県支部公式Facebook
でも千葉県支部の活動を
発信しています!



日本赤十字社千葉県支部 令和元年度 一般会計歳入歳出決算について

日本赤十字社千葉県支部が行っている災害救護活動や救援物資の配布、防災・減災活動の普及、救急法等の普及、赤十字ボランティアの育成などの赤十字活動は、国や県からの公的資金によらずに、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。
皆様からお寄せいただいた活動資金をもとに、当支部が令和元年度に行った活動にかかる歳入歳出は以下のとおりです。

収入総額 **2,467,007千円**

災害義援金預り金 **1,647,896千円**

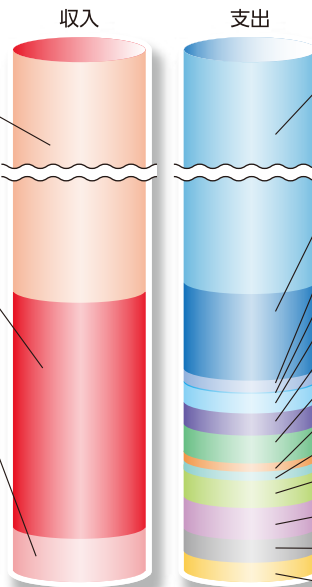
上記の災害義援金預り金のうち、令和元年度は1,603,899千円を千葉県災害義援金配分委員会に送金しており、残りも順次送金される予定です。

協力をいただいた資金 **692,296千円**

雑収入等(補装具製作収入ほか) **126,813千円**

**活動資金へのご協力、
ありがとうございました。**

※令和元年度決算については、千葉県支部
令和2年度第1回評議員会において承認
されており、日本赤十字社第94回代議員
会において承認予定のものです。



支出総額 **2,467,007千円**

災害義援金 **1,603,899千円**

日本赤十字社でお預りした義援金は全額、被災された方々にお届けしています。

- ①災害救護体制の充実・強化 **253,812千円**
- ②健康・安全のための知識と技術の普及 **34,871千円**
- ③国際活動の参加 **3,980千円**
- ④義肢製作所の運営 **57,690千円**
- ⑤地域における赤十字活動 **64,817千円**
- ⑥管理業務 **81,729千円**
- ⑦赤十字奉仕団による活動 **28,306千円**
- ⑧青少年赤十字活動 **26,259千円**
- ⑨赤十字精神と社旨の普及、広報活動 **94,339千円**
- ⑩全国的な赤十字事業、活動 **93,312千円**
- ⑪各事業共通管理運営 **67,317千円**
- ⑫次年度へ繰越 **56,669千円**

活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。
赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 令和元年度第4四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介しています。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

エム・ティー・エム興産株式会社(市川市)
学校法人 秀明学園 秀明大学(八千代市)

トヨタモビリティパーツ株式会社 千葉支社(千葉市美浜区)
医療法人社団 ヘルスアンドスポーツ会 鍋島整形外科(千葉市中央区)

日本赤十字社千葉県支部では、2千円以上の活動資金にご協力をいただいた方々を会員としてご登録させていただき、定期的に広報誌をお送りしています。

*会員登録及び広報誌のお届けを希望されない場合は、下記までご連絡をくださいますようお願いいたします。

日本赤十字社千葉県支部 振興課 電話:043-241-7531(代表) FAX:043-248-6812